職力旺盛な民間人を任命し地方戦闘機様を帰化してあるだけ

順風の役員改選により美規制が除され機関、弊議員が地員さ 整物のものであり、新しい性格が難られ、

会員プラドレーはシエルプール兵

然後がず米率は瀬日朝から鷹砲 オフール匹方の需要防御能も依 路射他によって、戦破し、シエ

イター電影によれば甘七日米飯司

る即告したが頻準は勝乎ほぎし被

意画隊を後退せしめるのけずな

課長、松本朝賦軍經理部長、松本 **黎田四郎居县、林巌游、松永雨游** 朝鮮戦後高い意気はけ八月子後一時 指示により設立することになった。

の協議があり、湯村曾長の挨拶長に湯村民二郎氏を指名する冒い。

部長の祝 着がるり午後 三時後了

に思りたるは何に関視に堪へざる

の確保を顕る上に於て刻下殿縣の類材として、朔文國民最低生活

は陥り島き、機勢、化の解を懸め、 郷を行ふを図とすべく、別や

可能から歌園地を徹に一間り

「器し得さる。他前に周刊なる表別

東ルリンけ七日同語』近外路部

一台七日同盟プロイター電報によ

日朔京城涪職任

Swwwww.

油との協議希望スポ

援助情ます

ガ翁、會議派領

無任機道際 (ID)

消

息

防空機不能技師。岩型、忠孫

熱性疾患時

し大統領ボルヘ・ウビロも影響す らの報道によれば、内閣は総辞職

に完全に合致した。

**収縮となり、官民一致之が生態の** 

府民館中蔵なで田中政務

ン廿七日同盟 ロンドンからのロ

助植物繊維の生産、加工の罷てを一番筆式官(代理)及び善島数百名

出席の下と創立總費を開催

先づ湯村設立

守確病氏が選ばれた旨を報告、田

其開時意義より高井芸三郎・西海

維產業會發足

村松宗次の四氏及び廿八名の呼んに次いで曾写指名により印書に

田中政務總監告辭 現下の単大時間に對し機組産業

るに至らざるを以て極力的成現化歴は日間後く決を信息引き、

主職を以て律するが如き

大化に緊脅し延大なる打騰

降伏勒告拒否

に西線なる成員が細出するものと期待されてある

厚相、所管器項奏上

at [

i Ri

の生活へに極手と結構さる流して、なる自己職員としての別的主意をいい、ども男子と同じそうにっか、する独身接りは、後期の如き離取

著し会は女性解放を、男女同郷だ

度で一個して、まことに臓器が

は他の家庭の一畳としての幽難に

來えのである。

かくると主人東部戦の勃建は、

黎斯的観報に置って残らばそれら

いのである。かつまをかつて男性

がついてゐた部語についたからと、第一樣にあって星國の眼線を一身

である真臓、避断を失はないこと。に盛る喰ひしばつて戦つてある息がつて、女性としての成しい特徴。に獲って血酸を緩、あらゆる風苦

下當館の國家連絡に付官の施でに

て國家施營の販路に立つものとい

今や智面の腹局伝統水重大にし

て町湾が班の原令を指集する かわて言だめた合風に 太皷とか、振鈴とか、

おり得て、大切な場所、緊張の斯と事務員を出すといか時間を節

着く金斑質に原はることに

の町線代の如き心がけを、あらゆ

る鮎で活かし、困難な時間を薬切

れたら、その時間だけ早く

M

を認識する、これより外にいく方 数あるのは認識に通告すべき基項 ▲明令は町電源統所に配づけ、班

を党取り、自選にとって返して右

かくる日本に於ける女子生活の

子は概につけたくないと願って

ふ得識である。

なる自己調定としての外的生活態に変公に出て動くとしても、所能

低下を設慮して出來うべくんは女の三ケ月を職場に出勤させるとい もあらず日本女性としての品格のなば不誠後の就職希望着な卒徒期

あくまで精一ぱい、その頭の力、 言れなくてはならない。さうして

をなさざるべからざるの状なり、

暦工夫によって施策の落行

盟派弱力なる機構陣容の下常に母

になら四場合には、 類が金宝様に知らせ

中その太鼓を自分で吹くのである

際代は町曾集務所へ駆けつける途

た本張版といい場合には、その町

拠元に置いて懸ることにし

この経

果、町綱代が配けつけてか

り指摘の機構を來すことなく

既の力で幾個される際に、日本女

れることを作るべきである。 性として國家職員の映加を消職る の古中にあって銃後を随る日本女 ろの観路はさることながら、戦ひ

すべからて現下日本の女性は、

は家庭の手頭ひであり、よし他家

的、對立的に行動をとつて來たも として、形と思えに耐して積極

勢に依って適られてあると願へき

第生産に過ぎなかった。 それがと、女性を就後のあらゆる生産面に助

あくまで家庭的雰囲気とおける動 従ふとか、家内臓に皆るとない。

の三三十年前のらやうやく、女性

難びの部が関は、一般今日の軍制

るが、第一は國家社會人としての 動質婦人に何を求めてあるのであ

としての民意が、それら女性の動 別に彼が 酸り管理器 富なる戦力

頭は廿八日子姿四時消み官班ら東一

米にかける女子の生蔵動員は、 まことに目極しいものがあるとき

たのである。然るに、こくに我ら

際民国観を信仰として家事を整へ って本地とされ、親と仕へ決と仕

憲法人々といふ一種の言げるの 出き見るに空つたのである。然る

く、且つは、展業の中途にある女

が言くおはとなくとなる影響の自

域の都能を感に含て、冷悸治惑。の転力の移跡にして、その後しくなればその最かに関してで弱い。女性にも日本

を放すべきである。女性の力、 一端の手でという熟蔵に女性の強さ 神的、生産的級力の一切を、自分 軍の忠烈に思ひを致し、統後の精

存し克く之を勝得し仕事の精神を節は一に至高至純の國家的精神に

数の対成に最大の努力を同却し就 は其の傾命の果文なるを目録し音 に燃え一切の私心を去つて國防薩

こで、この時間を極度に縮めて、

白水製藥研究所

談ら食生活性 の知識・配給材料の活用・主食の活用・衝米食職よ顕民として、食生活に関してこれだけは経

號俱

樂 部 獅子女六

ある印献代は、事務員に庇かせる

中耳炎、高陽県 原、路間襲災心。 日葵 10管 五0で 原、路間襲災心。 日葵 10管 五0で

振舞を女性のあることは、その當一て強い、正しい美しさを今を練現

至語の対しても工品強出を契

にそれらに対して社会一般は金融

もの能がに、物やはらかに、

といることは、何れの國家にない ってゐた部署に女子が代ってつく 勝名につれて、これまで男子が貧 場へ動員するものである。暴子の 競争は、女性を家庭生活から職

> としての監理さを失はしめ、咳る 出職、管見といるが如き家庭婦人 のであり、かくる女性の外的生活

ものは自由が強、咳るものは中に

女子工員、被展工員などとして選 とし動員し、かつての際工場から

選と意識、追加、特殊器員が進込 あらゆる東工業面への独身を要認

求してあるのである。かくると言っ 女だから、か弱いから、また仕事

現したことが、到る處で弱く消し

である。現下各種の職域にある女

そのあらん限りの力温の飲料を希

た車率とし、電影変勢学、統領の の市に店員とし、高級員とし、

生産の際意を以って、女性をとしに作る観後就力としての確だに、

「東京能話」スターマー駐日総大

(子和十時度、鈴木正翻聽是在5 最起西一廿八日の植物院定例参集 切付けられ所管薬質につき変上離 、東京電話が景温和は廿八月午後

間下間に塞答し傾前を逃下した 三两當中心物內 天鳥里下心照謝

顧問官天機泰伺 扉

に望む 女子の挺身

も重要な地域を占領しようといる

企品を対するにいうと

シエルブールの東方では獨学

したのも終了した。但し浩戦の最

施納器をもつて特火點を攻縮中の一般的で想大た遺影を破つた、火焰

既は甘七日つ宮の通り宮明した

こく甘四時間とおける衛品を

を配縁し、同時に速度おり

に損害を與へた、一方感習新兵器 射験を開始、フォークストン地域のドイツ戦戦会は廿七日梅。横郷

一端の攻撃は再び役列の度を加

もこの集離でようて記録される。來のものに吸べると湿度も炸焼館、放ら示され機能地路および時間(で支援を作すく、近化しえ安、な

是完全な合同と創産した言葉を

人航領、ラムゼ

圈

影情麗なとつたが、グワナマラか

任四軍司政長官CID

職接助について計見を交換した評 ならびにラムゼー外相と意見、

りては業界金融に買る十分なる

宮明―カナダ第三ならび 京第三歩

原側地域の激戦で

ける英軍の攻撃は悪く職遇された 「ベルリン古七日同盟」関連部局

されてゐたが機構のため船形を一獨空軍は合計サ八機を破壊した。

地區館にイングランド南部上空で 在四時間來侵攻戰線、四歐占領

**上大日同盟」欄部館局館房** 

うて逐次企工場を構成するだ

廿八機を撃墜「ベル

自動操縦と空中操縦所

彈着修正で流星彈猛威を振ふ

が大破坐礁してあるといはれる

一向つて懸迫を加へたが多数の死

ット及びノレーの中間で南方

米単の企園は未だ成功するに至っ

シエルブール地區の最大の標頭と して郷軍がこれを死守してある

ルリン廿七日同盟)劉領富局

依然獨軍が死守してある

[ベルリン廿八日間盟] 瀬運電局

市街戰終了

よつて後述したが丘路版と運搬は

果は市街地區を大学制整するに シェルブ・ルにおいては遠に来

「ベルソン甘心目問題」甘心日の

上、日登表ーシェルブー

- 占日発表=シェルブール半路は | 微戦ののらの電戦戦の発表が終って、ハリンは七日間親 | 微戦略版 | 国明ーンエルブール市内の緩延は |

巻の幹部、関係者で勧請所、朝鮮所

寒節約百十四

で構造の英語教写書『第六回三部連章書』は田中副部表所建設の英語教写書『第六回三部連章書』は田中副部表所建

歌る中間頻後の空間原物を含え種とし、干五日周壁画地員が

兵器廠、港灣確保

後の外が来郷し

地球は何れらこ。は引継を背景の一後を辿りつつあったン路周遠に行助せしめて観拗なっ

イバン局所在部隊の力観波闘に

【東京電話】マリアナ海域の販職】り、隣は掘刀職隊を合わなほサイ

敵、本格攻勢を示す

| 一名のでは、 さらに

五三人

【ラバウル甘八日同盟】甘六日酸 | 鰹酸

リアナー木

五十機 ラバウルに

> さか、わが所在部隊はこれを邀回 戦態約五十機がラバウルに來郷し

> > とくに大宮島の如きは十一日以来 ツクなどで巡日爆流な攻撃を反倒離する一方、大宮山、ロタ、トラ

延線機数。平島の土一機ないと

動の強烈さを激幅なく物語ってあ TP八十機に達してやU放便及所 その11機を解除した。 わが方被害

「中部大学洋基 | れな機遇した

ロタ島

百六十機來襲

起さしめ、火焰天化。するのを監見しつく全機無影響進した

西方海面の敵艦船攻撃

六日わが航空部隊はサイバン島西六日わが航空部隊はサイバン島西

**浮顔して太平洋名趙環が一層に** 効化する吟敬のマリアナ侵攻に

譜島および附太平洋横切におけ 對してもしばく敵機動旅隊勝

括層な助きを呈するに至つたこ

とはとくに計目を関し、

他の一味は衝場飛行場に対しそれその一家は衝場市街東北部に對し

方とおいて合脈ののち一際に分れ

政験を維行し上陸部院の建攻を推

戦に呼吸し、 甘六日後回監略部のアスリート発行場を暗跳、 これに注照な 原能を加へ、 これを 原映炎上さしめた、 わ 「田都太平洋芸地十八日同盟」サイベン島を勝る殿局は日曜しに音烈の度を加へてあるが、わが航空部隊は地上部駅の

荒鷲、地上の奮戦に呼應

家を同日夜わが航空部隊は同島四側ガラバン阿方の敵軍等品型散所なもは難じ、これに多数の部中戦を脱へ大幅速を

力短面に行動中の極端船を攻撃しこれに相當の撮影を戦へた

門日ロタ島で対 ても敵機大十

獨軍、シェ牛島を死守

でスペンドンサン日間間 1 四個製造 古路日級既が展開るれ英軍はオ

> は八日次の通り言明した 「ベルリン廿八日同図」「西部部局

類里模学被および沿岸防禦部隊

英軍に大損害

敵戰艦坐礁

文マストの観響であることが判職部出来ない、しかしこれが三 に騙れき順に坐開したるのから明してゐる、同様は関軍の殺害

た。英國軍職頭工際地區への一

激戦

Z

飛行場を炎上

集積所を爆破

シントン來館=中と、

七月米蔣會談

というつか、何時のウマうに養が「重然を出数、米顔に向うたと」 をいうつか、何時のウマうに養が「重然を出数、米顔に向うたと」 をいうつか、何時のウマうに養が「重然を出数、米顔に向うたと」 をいったらう、重に向くまでは、カースペルト、チャーテル、 のでは、カースペルト、チャーテル、 をいったらう、重に向くますでは、一次ペルト、チャーテル、 をいったらうか、何時のウマうに養が「重然を出数、米顔に向うたと」 「信別に通れるところご」 二国図書談か 「ストック

であり、その戦法には無いに近い

行による電波に発生産産場は甘八 【東京電話】大河内行政查察但

を開催。さらに同四時から工場側

つきが識したい言申入れたと似へられる し質議派総行委員と印度の政情に対

岡

著 石

烈焰 易·機能

本文 一四〇頁 特製 医三面白〇年

て同工場背年島被で随貨賣職 管時過ぎから大河内帯楽曲を

反復するとともに附近海峡の敵岸が駐岸に盛夜の別なき傷寒を 整艇をも弱態し、これに差大な

【歴東廿八日同盟】廿七日の蠶篋 | ぞれ猛攻臨を開始し自下衡陽市街 | 腰閉されてある 中街周邊に激戦 精鋭、衡陽猛攻を開始

一方小笠原諸島、歴武島などに

周邊において彼我の間に攻防職が 敗残兵集めて

> らに際める結果を死すことが定っ 水経に大攻勢は歌陣盤の自爆をき

微災であるかが観はれる論で第三 で取てせざるを得なくなった事情

衛の本質的な一半を構成する

論道認局總統銀長高級取扱

同

四田

あるが、フインランド政府今

**阿尔斯尼共享** 

獅

驀

敵又も出撃す

で、わが方まだ新銭部隊の集結を 終り、今や雨と泥濘の霧南平野に

が反射にいかとこ何でけっケ おいて極の大軍数萬に對し一大職 捕虜の首によれば徹は熾烈なわ

して新に一ケ師の城後部隊 凝 空部隊を創設した自殺表した 三院空部隊を統合、新たに極東航 梁中将ジョージ・ケニーが献た おかれ司令官には一九四一年以

制度、非化、トンキン地區と 発工上流・り渡河した第廿集選主 P日数】第二次経江大攻駅の掛野 と杜殿の顧みと鳴いでをり、一方 値味されて怒江を渡河、雲南省

力級ケ師はわが激星布陣の間駅を

【経江前線膜井、中野報道班層廿一畿って龍川、石江方面とり扇下中 雲南に第二次殲滅戦

紙は田民が初た器からまげ出すの一 獨さ完全なる合意 和するやう主張してある を容易にするために最火管制を避

芬、交戦を繼續

第至國大震においてデューイが順

命同樂務局第二無異雜國際課長

阿麗温曲

**%** 

機能の 当

大航領候権に指名されることは暗 ーク楽館―シカゴに開催中の共和 「リスポン廿七日同盟」ニューコ

【ベルリン廿七日同盟】 鰤外谿省 獨外相、芬次統領會談

フインランド大猷領リスト・リトントロツブ氏がヘルシンキを訪問 は廿七日公報をもつて外げリツベ 七日夜次の公報を發表した

B マンドン來電 - 英帆海 ※投写

緩和を要求・ンサ七日同 英紙、燈管 「リスポ

ないことは明かである

キ來電ーフィンランド情報局は廿 問題特に望事上の援助に関し デューイはいよく選番に属を決 彼の側近著の洩すところによれば 確定訳されるに至ったが、廿七日

內閣總群職二十七局 グワテマラ

大統領は廿五日非常嘉勝に纏み暴 高し脳の指名を受話するに決した メキシコ市栄養=グワテマラ 東京韓道局基 四層 東京韓道局基 四層 水原免本宣(各通) 内 閣 辭 令

蘭灣

・ 高にして。一髪中五〇〇 - 高にして。一髪中五〇〇 - 一系のとなどがミン印統結 振光的 養補給、消耗性 産・授乳婦の築 害、自家中毒、妊 養障害。發育障 人工祭養兒の祭 ペンマ合有す。 一個鴉灰患



## カロリン海域までが空前の撤闘場 間の激化とくもに規模も送次版大 今やマリアナ海域のみならず してマリアナ海域の競局は戦 戦局は正に伽めて軍大なる時別に 受験へ上突入したことを示する が順へ上突入したことを示する が順へ上突入したことを示する が関係ない。 が回答となった。 が同時に敵の侵攻が守勢期、對 がる傾向を顕著に示しつくあるがる傾向を顕著に示しつくある。 ズベルトと意見するだらうと語った 提系

O总辨街 维摩0 と開発が発 異も見然の ものであ

微地

芸成が増減の確信を固めた 七日次の通り割明した

門司殿所局帯

哪

包

發甸月

曹羅を詞言音祭結果を詳細に敬討 の増重研究限談會、夜は男び吟稿

運輸通信辭令(共八日)

伦 清湘<sub>Q</sub> 編湘 O ST 献南 引継いて生産環場の産家を行ひ、九時より約六時間にわたり前日に で終行、出田首席職員以下は学前

ふ大出血を來し、機会の切れとし でに特別せる敵の過ぎ影響は八千次級江作戦開始以來六月廿三日ま てかかる敗廃部隊の第一線附出 学れば一貫以上の兵力損耗とい 四百五十により戦死傷者、捕腕を に織成した敗叛部隊に過ぎず、今 るものを容せ集めて一ケ師を選が 総は脳陽兵、愚者の原際役

全力を疑げてソビエートに對す公報によりフインランド政府が

施局协盟局及

札幌戲語局長

**養養** 切

近代戰爭史略問認

全戦がに沿蓋しようとしてある。

ホルシエビズムに対しては傷

驗經路(II) 補門開鍵層長

飛行機の設計生産であり

朝日新聞社刊器齡元三日

大臣官馬交響課

決戦下の食糧増産が日報

加藤寬治著

炎工學企教授一一不欽夫著

伊藤縣炎郎

府が変を共同の敵に対する収 交職を指揮する決意を固め得

部は廿七日征來四門太子洋と記述 「リスポン廿七日同盟」メルポル 來第一四南太平洋反應軸望司会 極東航空部隊を設置

命數道應局長官官房勤務 任國道監 (I I)

原置東介

澗

漢定 ン廿七日同盟

へルシンギ來地 数を開機、水車の攻勢に對し 配密質で決定 [ベルリ し、さらで廿七日通常會を撤 まで交流を機能する問題吸を ンランド國際は廿六日夜人時

オルシヤ守備「ベヤ 血路開くンサー 龍上 0

開泛

隊

田田本歌三

居總統憲長 瀬

本国 子国場(III) 東京

**先與這越局動勢局長海務取扱 高面温度器 小野 端** 

命同志計學長事務取扱

脚鉄は湿力な赤重の包配資を突破一般級中部地區オルシア市の鉄重出・電路の一般の大力を赤重の包配資子の鉄を出

デューイ指名受諾か四方に血路常和くに成成した

灣產

ふ人々、指導者である人々は、こ ひとめるための記憶につくことが 戦機と取び、前機による被害を食 例としてこの話を昭かず責任を貧 身をもつて班債を護り、府の一時 出来るのだ、從つてこの町線代は ◇小震之助氏 (南韓聖長) 廿八 を聴ってあるとになる▲里なる一 

▲海軍主計長戦記 日本精神講座 本映開生活體験記 勝利への生活 原発音・成田を計 原発音・成田を計 原独なでは、 の場とは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のもと、 のも、 のもと、 のもと。 のもと、 のもと、 のもと、 のもと。 のもと、 のもと。 のもと、 のもと のも。 のもと 

★100線 III00線





のはあるまい、駅々として見

順下の青年職員の賦完ぶりは必入

工事に従事らせることになった四

殿製除魚の銀度松工専作館に磐仕

林農務課長談

班長は班員の中から世話人を選出なし雑盤時人祭と引換等を配布、

が名車輌の配長に脳刃扱分階管を一定の器で世話人が雑階を翻めて既一

して引換祭により代金を取締め指し

(1) 日瀬文浦路旅客(2) 傷一便先順位が定められてる。

も成績は良好である

入する、なば辨婚購入は次の如く

することになった認識について杯。

を期待してある次第である

雄渾なる構想

れ幽察を初め各方面でも影話の的

ころとなったもので次官の依頼取 となり、これが戦臨局の認めると 傍ら、薬刈り田植などに建窓期の一

事に駆けずる名誉を想つてこれで 小路路路、田中路路の直路近の江

萬丈の氣焰 名祭のため特に一ケ月だけ作業に

七月初から一ケ月間軍喧然の縁続 添飾することに<br />
なりせい<br />
日正式に で地の進歩した問題法を導びとる

背知めから埼玉、群馬、栃木、

同品被祭は廿八日御見總持寺にお 川景次郎氏外十世の母音局初の合

によって大きく質証

無陽県級國青年隊賃は六月末に

南海に散産

任務終了の概念るも石を本部軍

といふが重なもので本行としては 所修経絵工語に順接を信使、約 一切明問死法就能方記版原伝、 ■■別特遣派地内 ■■■ 除勇義年少

際敬米克を整へ乗ち完勝の好機 る地面への極身、削減も部役もおける繋がの取職、銃後におけ る道も爪こくに続する、前線に 臣民としての道は唯一つ我々は

解製神社が創建



...

## 明治天皇の 祭神既に卅一萬三千八百六柱 御仁 慈

た。学明失編はこれ經形士の功勇類初の英國の志士多數を失う 雑成るまで私事をなげうつて思

立 を基せられ目づ慣れませ鈴ひ引 なが、世時の飼料物によってそ たが、世時の飼料物によってそ たが、世時の飼料物によってそ

の相対社の相りに遡らればは

るや新たに招頭社を削弱すべき 明治一年以京へ西都やるはられ 理社のはじめである、かくて際

典が嫌けられた、これが以京招

行ふ自合言を競せられ、六月一 日江戸城西の丸大原間にたて祭

見えてのる。
取頂松柳趾は明治 別格官幣社 いかき

れると共にこの年はじって

多数の忠璧

開社にのいこの御的例ではへ

別格官的社は樹正成を祀る湊川 って明った証格であったが、解 神伝をはじめ向れも主柄の別臣 特定の個人を配る神社に限

と質はせ給うたのである。元死

和へ別格官解社ト定メポリテ仰 **ド用始り際と称ラセ船と今ヨリ** 別及選択二はルコトナク祭り台

が、である

「いっている」

「いっ

法だ総師に加へられてゐないも 関にその役以中以前の志士で 神社なる肚脈を贈つをがその皆

然地を禁し路時に別を指じて

田安台と稱してあた

テ大屋のマバ安國ト知会スポンナオリン・

如くである

回必がき毎年、幾回合配者を出 長候権助員とて動物してるた も大正三年シベルト出兵を閉場 る、なほどの他略和七年分前に しその数は日十餘柱となってゐ

★ つだ、内地図家に異なる電腦法の先続だけでになかった、版公

量鐵

一三十六百年、豊益原場理國に既はる・殿本への現まやは青年に基

で融げ合く内鮮一體

我は次々大小無

清新が刺える少年特別機関域が<br />
に関から選び、内地へ性<br />
大地社することの<br />
一★、のである

軍直營工事に奉仕

金行帰済誤長は廿八日次の班く器一

り近く独装の反敗りになった

等大は00頃にも及ぶ原船から小

へ入つたとき、更に我々を強かせ 工が聞い機板へ全力を続けて調

たものがあった、そこには〇〇名 を握ってゐる、だが次の〇〇工場

が整理が、官から 政務総監領に、て、監督は首城に置って取ひたいとける籍化作業が終ったり、實化、 音気を高いたは、一月でも早く時っ然下事に顕確力を依頼する職権、して認識がには、一月でも早く時った。 農報隊に輝く依頼 ころであるが、誰に直接路化する 

めつたが除貨の朝鮮へ踊つてか になつた、単の希望は1 デ月で をあげるものだと思い、は質がは全半最階年のため頃文の領格 改つて見れるといふし、このと 考慮して「ケ月間にしたがほと しても一般紛紛皆とは全然別に ら耳場任務が持つてあることを に競れさせる。一ケ年の路家生 内地に送り一ケ年間内地の路家 をおらに持ち、召されて兵とないのに持び込み級へ上げた協議

て耳を襲する銀打ちの傍らには〇 のだ、船台と版めしい巨額を結ゑ は〇〇の精密を設作まで一切の海

敗然として作戦を続けてある。

しかもこの女性の中には〇〇名の

や手に飛び散る照片を音にかけず 解疾作業に従事してゐたのだ、腳の女子工育が、男子の中に交って

本年十月第一回としてまつ百名、 本年度中に三百名を誇る数定で戦

容紀一ヶ月間凱機することになっ てある 中を進めてあるが内地派遣る先立

選拔制に萬全策

今年の上級進學者は優秀

近く具體案を發表

内地派謝臨報管年除一明賦を背白って超つ青少年階には 泉たる。陰時々に京るとり昭別少年戦闘隊を組織結成 一瞬間では、これら照然な希望を汲 内地區家に催れ、空級至高の路球 で思びとらうとする氣温澎湃とし 際配を促し六百萬智量の結束を堅 熊本部では廿八月午後一時半から め時職党殿に選進しようと日帰朝 護員初願合せ婦人の歌

> 切解財風會理 は既ふ朝鮮の

> > の父兄その他一般だその統督を、今年の名業生の武勝率は帝忠と なまた、朝鮮内の県校の出事者を初 を鞭じたいと悪へてゐる。なまた、朝鮮内の県校の出事者を初 を鞭じたいと悪へてある。

い姿を見ると同時に映風館の

防空第一課

防衞顧問

25

らぬ、ロンドン、ペルリンでは空間の和度職片が道

待避壕は掩蔽式に

戦に脚弾除けをけではない、高軌間の 職片著下艇 待継續は衝艇式、関大式が最長だといは れるのは 風による路物の一般散落下に触へるためにも縦蓋、

再及び評議員約五十名参集、初**時** 三時半閉會した施設の概要などについて機能、同 合せののら不年度強質の新聞及び

長途の汽車の底にひもじい思ひを かけては相響芸ぬと七月一日から 驛辨配給制 日から實施 打合せの場合八日夕釜山野急行で 事時につき本府での他関係収略と **全国十二**自由胺验山昭司檢閱經 入城するが「際道ホテルで「隅つた

> らぬ、今次の北九州の際にも味はつた通り高射砲の 横穴は直接に頭を観る縁端と共に是非なくとはな

の屋根丸に頭片落下のために破消したものが相當め 落らないのだ、今回の八幡、戸畑、小館などの民家 路を埋めるといはれる。それ位射をなければ破機は

研究はこれまでは列車の停車時間 はかつたがこの際を防止するため 地を消じての一般給制となる一個な 既内各別車の最熟省が別車内の関 施いたの旅客が一時に登到し 心見を指記し、岩ない人が東 に決定したので、これが適切なれを脳止し、選技制を勤ること 常によい者ばかりであった。 いのでそれが打合せのために來 る対策のため文部省とは内々交

> 2 か

り頼みますぞ

窓間を買へた「やりますを総司令」

同は触られた説問金五十四にさ

らに固い決獄を披瀝してある面特

また川崎市東小田町南小田、郊街に駅金した部の通知があった らに五十個を輸出して百回を振車

畑總司令官、荒鷲を親しく激勵

とに官立場後の方針が確立、私・日朝祭制での創設が組に続り、宏は確にようて入場を決定するこの原発が続いた職を称するため甘六の年代を持ち、内定者を担に口頭に対している。 は地上の友単の祗殿に努めるとと 【大陸開發炎斑兔井霧道球長廿八 加へて敵の強励を封じ込んである もに往文米公里活地に連続往攻を **降つてゐた既節隊、慶野隊、** (単郷) 際の精鋭は激闘の後に生々しい血 後、集職関隊のピスト前で将校以一つ新館範閣機について説明を隠取

と行のであついた形行服の膨胀列

ますぞっといる句だけだが欧際の

けに基地を去つた

任務についた新司値である。そ 折しも地上を満らに特容に関ひ 上つて行くのは敵飛行場偏常の

なの手紙を若り同時献金に名託 派謝台の原間を受けた極激と決 では、断盟大家領成部兵あて

海軍へ縮馬献納

を示し新財政預得もの様であつた

倉土

一種と一種との不振状

弱保合 国語戒人報題る機

**券市場**(大旦

商船ほか、朝間では現在は

際にある市場人類の沈瀬を打破す

人御紹介!

初海領域可段網ーることくなった

加盟なから何めて感動的の訓示 いよく意唱しつくある、今後

言葉は多くの音楽達といい知れぬ を映へた「今後ともしつかり戦み

職は行へ して元郎を迎へる、ぼうくたる しく嫌いてある。その時人を類様 間据を行うたのち 疫面の中に不遵不屈の流域湖が逼 たる破壊は増七の循環に振づく

しく風ふ、しかしながら照局ものが多く概節令官として心

に一以前帰己の製作を展開中で かね日本価部間一丁二百十九名

「配闘する野兵の慰問と放助を

超領域以内媒像小級役女庭で成大型とて計八日午前九時から明治町東して計八日午前九時から明治町 いから四十五紀までの男子を明旨 で隊長に推して東城在住籍領十七版総施備隊合智では留長司子明氏

自一同は初めての辺堡全額を破金 \* 描ひたいと朝鮮脳盟語で附つて來 慰問金を献金い影響

挺身隊を結成 **京城華僑勤** 完死大東距域の完盛へしと 行奏原報道部長を防ね十四回を開 として受納制作する 成能は開始一起と一個 金融整備により機管行から報信 質易な名的を経営してあたが

冷解山脈の終工式は廿八月上前十

砂初日

中大若

劇劇 明京城

治劇寶

金銀線

金白美一行

**是晚道贝斯、阿伽葵加曼、**培市京 一時から本場で盛大に現行、瀬戸 昭和十四年四月起工この接完成し

龍山署竣工式

手数をとつた

日間重省を訪ね様本次官で飲納の

数 日文第节

本化無の方言。

篇調快畫映竹松

日國空歌流元元九日一五日本 大 中 大 い た か と い

ス撲 法解釈

高官加俸婦金 以人際

日、三百餘束を融山陸軍病院に

れて行く、ことからは、航空機の貸 にも足らぬ機能な部分品を丹意と 次の工場では一四、五歳の少年 吸部分が正しく生れてあるのだ でいくべき恣酷力を設施して存は 棚やボール機は女子の方が能率が く姿を破見したのである。小沙版 場に入れば再びろくにも女田の脚 よいやうです。女子は創造力には **慰訟と眩尾を持つて次ぎの〇〇エ** 

らことへ来をしたが目前りなほ らことへ来をした格時、年尚工

□ 一覧様で不安でしたが今はすうか
<松本(女工員)ト初めに色々な
に勧く検管があります

三人連れて來宗した、一上東は大

一等人家 記述 四季大原へ 柳川氏 へお荷物は 大田東中で贈ざた

作可三人一世最合無効と か一連ないない。 が一連ないない。 水・も復五分の丸形字 水・も復五分の丸形字

歡 景夏节

三 呼 元 所

五八の一気がしませれた。

問回を見てゐます。そしてあく 問題・「女子保長」=歴代事務を やり、夕は森へ踊つて過さんの

京城計理事所

雅美維歌劇團 公演

場劇實永場劇陸大

会

一瞬時があるが命ぜられた仕事には、「医療心してゐます。女子一員の 驚く べき忍耐力 鐵火に挑む女子工員 度が多かつた、しかし合は会く

◆自石工長=私は設計作業に従事

を限めて盛つた。かくて我々は豫 れてゐることなどを田口大尉は蹈 が終品の上に竪質な物と成って現 忠度であると、女性らしい細心さ 定の見趣を終って大尉が司母する 内の作権ならば親に比喩ますしたが今では習低になって工場と対している。 ◇掘五郎丸工長 塔船の修理と て行きますのでこれからは冒地の以と併せて留すの方もやらな

してある。たれを過ぎれば立ま如しいか、この歌くへき女性の部内にのわうな位家中の愉快な歌棋と登してある。たれを過ぎれば立ま如しいか、この歌くへき女性の部内にのわさな意味に伝え、様った人々から天 つては宝み期限に間に合なせることが一番頂い仕場でした。したが一番頂い仕場でした。したが一番頂い仕場でした。して相信無理な工程を進めても少しの危険もなくやれます。そし 割は朝鮮、四割は内地その他での八割三分に譲し、その内の六 外地は個く少数であつたが何れ □のボールがが観音です、環境は小型が終める。

し合は資建的にしく一生機合物 りで喧ぐ止める者があつた、然 し合は資建的にしく一生機合物

◆金村(公園出身女工店)上女とし

してゐます

しかも女性らしい生活といった。それだけに男子と異っ

移轉達 告 特別 (日本) 11日の3番(田藤) 11日の3田の

◆切田(名子程計)=名子といふー て来ました。今は報接をやつて

随

億五千萬圓を突破か

好成績の割増金附定期預金

七捌四分兀匪の均、また昨年末に比べると三千百六屆七千四、

期相換道場で開く

透過

職大會は二日午後一時から京成監 **入廣省門風校德育振興殉第四回相** 

後一時間式し

聖高萬歳を塞唱し午

大學高專相撲大會

山野長の疾援があり、最後に瀬戸

三百二萬五千國の十四割五分九(第一回)現在に比すれば四千

家庭で治す」を

築草の自療法

年生の時間

朝鮮總督府刑務官練習所過程順監問

夜シテ

蔵は皇軍への悠朗文池蔵、際南の 島更に明鮮神宮に翌年した、個 いたが、こと先立ら龍山圏取病院 の自在の第七を機関(触問品を贈 無い場合では廿八日辺に松田を明 土建協會總會 朝鮮土木 花しく展開してあるが、での一覧 十八億貯蓄攻略順はいまを解に花 頭力性を酸態してゐる 好成論を続け、既ふ半島の合所の 回門地位附定例項金は強烈以上の

將中岸川 談着山釜

のら江口城下島長の膝演を聞き上 金尚は七千二百五十一四二千百 その資額をあると廿日現在設力 增合附定期預合在一個三十四回

一般には 豫様以上多様に落下るとを 場合せねばな 

本半島の便命を昂揚した

る、敗機がゐなくなったのちシュルくと夜空を さいて落ちる高財砲艦の唐を聞いて緩慢をどんなに

横次に回る

を願る説前、昭花園あるひは郷は特に重要である である。食傷者の中には上平身、とくに頭部の負傷 心弱く感じたかは態験者のひとしく派後するどころ 率が非常に多い、極敏のない楽師の様の場合、頭部

網胎械市日建制製作所华州勞務者

原則成會長の賦納の許あって潮戸 一式は修修に始まり関係者の玉串 

資期出 動 格間先

の報告に成文を以上の退席を行うる完全 | 十二数 | 日本学のの丁麗姓の東京の東京の「中国教師」 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1 版 年 | 1

第四雄氏知正一氏の記ず、脳田紀 知事の後期のず、古市が共通に伊 間、電影 配送 のの (形) 関 

子女 待遇 勤勞挺身隊員及寮母募集

銓 衡 に服命のとと) 城 府代本の出場のとと 城 府 年間に次り参展あるの景秀で、殿倉は豊國客に攻い参展あるの景秀で、殿倉は豊國客に攻い参展あるのでと)
「別舎のでと)

歡 新朝日廿

明寶

数呼の町 11、20 to 10 1、五0 to 10 1、五0 to 10 1、五0 to 10 1、五0 to 10

城

場劇央中座日朝舘花浪場劇花桃舘樂喜舘美優

京城機工株式會

文社

数日新大学

若場劇一第

京場劇南城 劇

れぐ、同意、実を行って観念観点のないを示すこの機能はおり近行しなければならない。 治卿炎の子前七時(宮成護林)と正午(歌麟)の吹鳴を和合によって廿八日から皆分の間中止す 朝と正午の吹鳴中止 が重整領地の組長(東沿車等)

日からは職と別軍に対し各級選

#一路三千八百六柱に潤してゐるこの中には である 察するだに使れ多く吸波の呼み しめられたもので、 別外今日まで六十四回今年

四十月(周元十5回)號官「社 亚端」在。同个四部四百(配五 十四四十月(周元十六回)班線「社 四十月(周元十六回)班線「社 四十五部3月(第元十六回)班 10十五部3月(第元十六回)班 11十五部3月(第元十六回)班 11十五部3月(第元十四)五 11十五部3月(第六十四)五 11十五部3日(第二十四)五 11十二四 五 11十二 四月(第六十一回)里點四柱、十八年回)兵一柱、軍關四柱、十八年

より原時勤勢作線で従び日難親氏でこれら縁負は常島の指揮と 機能学なし終って総貨一面明財神 な能成式を選行、六分除せが取の 当の超を見くする【写真―

以重要報子に強し上面の心性とと して朝鮮特殊な者より会一世をそ これぞれ回動しを成、このうら子書

飛機に十萬圓

の一周と呼るの出来を第二章 管領した、思は含る自然を持筆

\*地學明鑑世界地圖

3月15月3日 近段生前季知各位に謹告仕 の處今般前線に於て 名譽の 乳社員 陸軍大尉 中村榮一燦

稔

嵩

御内示があり、顕然意知道上和

てゐた、こくで開放時社の起 東京招魂社と綱へら

明治天皇の特職党師仁禄によっ 人を永くお祀りするために前立 配いの紅統を明はるまでは えた解析で、場合士一年的國 國家のために忠明を禁した人

調練性は、長くも

华島出身百十餘柱

年四月歳歿者のために初週祭を督礼権川宮嶺仁郷王殿下は、同 万原言においては東征大統

大な吸式が製行えれたのである

廿九日から五日間七月三日送盛

戦らの感覚してやまね人の名が など何れも利用の恋世として

和土年四月の原四十九回名の十 によつて別性が潜み次規順次明 出された 八回に思って合配せられたその 治十六年立月の第十三回以來昭 明治八年の

を

基 テ練ヲ応レ男ヲ批テテ各々モ身 時の御祭文を見ると 一致命等人明ルキョキ心ラ以

及び剣糸の様が印出され、六月 起工となり、これが竣工するに 命の九段坂上を設定して假殿の

昭和八年四月の第四十七回以來 中島出身の合祀者も含まれて とは半時としてこの上もない節ひ動も多言によって死てをるこ

十九年四月(第六十四回) 銀屬五柱 すたばちの古人回と発元十七

大学・電影の難に演奏 はんた 機能の2000年

**数数长外**直骨恶乙目除名别, 於其、道<u>多</u>都多謀長、府內各 

海學

朝鮮蘇造株式全體最高町土系統 會 男放卵日草

图图!

本ニユー

芝加御會維御禮申上候

田

室報ス 新 場劇武光 場劇洋東 化文日京 劇